



# みやぎ税務会計事務所通信

《 2023 年 12 月 》



## 経営を考えよう

## 「経営者保証ガイドライン」をご存じですか

“インボイス”や“電子帳簿保存法”、今年大きく制度が動いた年でしたが、皆さま、ご対応状況はいかがでしょう。引き続き、“業務効率化”も見据えながら、一緒に検討していきたいと思ひます。

2023 年最終号は「経営」に関するテーマにいたしました。新しい年に向けて、ぜひ意識していただきたい視点です。

---:---

今月の「税務の話題」は裏面！  
インボイス・電帳法 関係の話題を掲載しています。  
制度が開始され数か月…現場のお悩みはぜひ共有させてください！



## 「経営者保証」とは…

中小企業が金融機関から融資を受ける際、経営者が会社の連帯保証人になること。

⇒ 融資ご契約の際、「連帯保証人」欄にご自身のお名前をご記入されている方が多いと思ひます。

それが、「経営者保証」です。

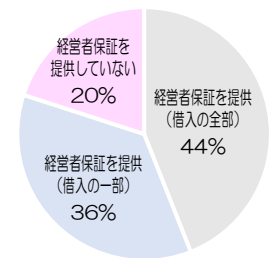
会社の返済が滞った場合には、経営者が自身の財産を処分するなどして返済しなければならないのです（亡くなった場合は、ご家族に返済義務があります。）



融資を受けやすくなるメリットはありますが、経営者にとってはリスクも大きいです 😊

## 「経営者保証」は必須？

実際、経営者保証無しは 20%！  
「経営者保証は当たり前」と思われるのも当然ですね…。



経営者保証の提供状況（2020 年度）  
中小企業庁「経営者保証」ページより抜粋

いえ、“必須”ではありません！

⇒ 日頃お話しをしていると「当然必要なこと」と思われている方が多いようです。

ですが、状況によっては経営者保証無しで融資を受けることもできます。

その要件などが明記されたものが「経営者保証ガイドライン」です。

経営者保証を外す！3 要件！（詳細は裏面）

① 法人個人の分離	② 財務基盤の強化	③ 経営の透明性確保
資産の所有やお金のやりとりに関し <b>法人と経営者の関係を明確に分ける</b>	法人のみの資産や収益力で返済が可能となるよう <b>財務基盤を強化する</b>	金融機関への財務情報の <b>適時適切な開示等を行う</b>

ただし、この「経営者保証ガイドライン」は

「中小企業、経営者、金融機関共通の自主的なルール」といわれ、法的な拘束力はありません。

経営者保証を解除するかどうかの最終的な判断は、金融機関にゆだねられています。

それでも、この制度を認識できているかどうかで、日々の経営意識も変わるのではないのでしょうか。

